

年度	高島水際線公園愛護会活動	32人	7月2日	環境美化活動及び生物観察会。
	象の鼻パークお掃除隊	7人	8月6日	みなとみどりサポーターとして環境美化活動実施。
	高島水際線公園愛護会活動	30人	9月3日	環境美化活動及び生物観察会。
	象の鼻パークお掃除隊	9人	10月1日	みなとみどりサポーターとして環境美化活動実施。
	高島水際線公園愛護会活動	40人	11月5日	環境美化活動及び生物観察会。
	象の鼻パークお掃除隊	9人	12月3日	みなとみどりサポーターとして環境美化活動実施。
	高島水際線公園	20人	1月7日	公園清掃活動
	象の鼻パーク	13人	2月4日	公園清掃活動
平成29年度	高島水際線公園	38人	5月6日	公園清掃活動・生物調査
	臨港パーク	1348人	6月2日～3日	釣り教室
	高島水際線公園	54人	7月1日	公園清掃活動・生物調査（エビ釣り大会）
	高島水際線公園	17人	8月5日	公園清掃活動・東京湾環境一斉調査
	高島水際線公園	60人	11月4日	公園清掃活動・生物調査（ハゼ釣り大会）
	ハマ海杯	26人	11月23日～26日	シーバス釣り大会
	象の鼻パーク	13人	12月2日	公園清掃活動・船上カメラマン
	高島水際線公園	29人	1月6日	公園清掃活動・新年会
	象の鼻パーク	15人	2月3日	公園清掃活動・ランチ交流会
	高島水際線公園	41人	3月3日	公園清掃活動・生物調査

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	象の鼻パークお掃除隊 高島水際線公園愛護会	横浜市港湾局みなとみどりサポーターとして環境美化活動を実施。 横浜市環境創造局の同公園愛護会として観光美化活動を実施。 ※両所とも自治会や町内会がない場所と覗いています。
学校との関わり	幸ヶ谷小学校総合学習 みなとみらい本町小学校 総合学習	横浜市立幸ヶ谷小学校及び横浜市立みなとみらい本町小学校の総合学習「海の活動」での教員への助言。同校生徒への高島水際線公園愛護会活動などを通じた環境学習（生物調査や水質調査）や外遊び教室の実施。
他の市民団体との関わり	高島水際線公園愛護会活動 運河パレード 横浜スパークリングトワイライト	NPO 海辺づくり研究会と協働し、生物観察会で人工干潟の保全方法などを試行。 NPO 濱橋会の運河パレードに市民団体の船舶として参加協力。 横浜スパークリングトワイライト実行委員会の横浜スパークリングトワイライトに市民団体の船舶として参加協力。
企業等との関わり		
行政との関わり	みなとみどりサポーター 東京湾再生官民連携フォーラム	横浜市港湾局みなとみどりサポーターとして象の鼻パークの環境美化活動を実施。 同フォーラムでの市民活動報告会への講演や、東京湾大感謝祭での運営ボランティア参加など。

その他、 環境以外 の分野と の関わり		
------------------------------	--	--

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※ 立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※ 個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

釣りやボートなどを楽しむマリンレジャー愛好者が中心となり、横浜市港湾局みなとみどりサポーター制度への登録をきっかけに発足しました。

横浜港に限らずマリンレジャーを楽しむにはシーマンシップ（安全理解、ルール順守、マナー、環境配慮など）の醸成が必要と考え、環境美化活動や釣り教室、指導者育成を企画、推進しています。

発足当初からの毎月一回の環境美化活動などを経るたびに参加者の輪が広がりました。また、ホームページやSNS、大型イベント（開港祭、東京湾大感謝祭）への参加などを通じた情報発信により横浜市外からも参加者が集まってきています。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

※自己評価や活動を引き継いだメンバーが改善したこと等を具体的に記入してください。

本会は、水辺での市民活動の機会提供と人材育成、環境美化に資する活動を展開しています。

象の鼻パークおよび高島水際線公園での環境美化活動や生物観察会を毎月開催してきたことで定例化され、これにより活動の目標が着実に実施されています。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（1 ページ「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

・横浜市立幸ヶ谷小学校 4 年生及び横浜市立みなとみらい本町小学校 4 年生を中心に、総合学習を通じた環境教育（水質調査やゴミ問題考察）、生物観察会、外遊び実践などを通じ、生徒や教員と魚や水生動物などの生き物のつながりについての理解を深めました。

・象の鼻パークや高島水際線公園でのゴミ拾いを行い、そこに生息する動植物の生息環境を改善しました。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

定例化している象の鼻パークおよび高島水際線公園での諸活動（環境美化活動、生き物観察会など）を継続していきます。若手メンバーに諸活動を通じ OJT することで後進育成を行っています。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

今年で4年目となる横浜市立幸ヶ谷小学校との総合学習でのコラボレーション活動は、生徒たちに海や環境の興味喚起、行動の実践を促しているだけではありません。教員の働き方改革が叫ばれる中、総合学習の企画、準備、推進は教師に大きな負担を与えていることが教員たちとの対話で分かりました。また保護者への配慮や時にはモンスターペアレンツへの対応など教員たちは大変な苦勞していることも分かりました。本会の活動では、参加される保護者に向け「参加は自己責任とすること」、「安全第一とすること」、「挨拶を交わすこと」、「人も自然も思いやること」を丁寧に説明するなど、地域社会における縦横の関係にない、斜めの関係性を築き地域社会の緩衝材の役割をなしています。また横浜市立みなとみらい本町小学校とは今年より幸ヶ谷小学校同様の活動を開始しました。



※ハマの海を想う会 公式 facebook より活動報告を抜粋。



2018. 07. 07 高島水際線公園愛護会 水際ごみ拾い・ハマエビ杯活動報告♪

今月は幸ヶ谷小学校や新しくできたみなとみらい本町小学校の子どもたちも沢山参加してくれ、賑やかな愛護会活動となりました。ゴミ拾いでは、大勢が一斉にゴミを拾ってくれ、お陰であつという間にゴミがなくなりました♪多くの人の行動は大きな力になりますね(^)v

さて、手長エビ釣り大会ですが、昨年は一匹しかつれませんでした、今年は大漁～(≧▽≦)初めて潮入の池に入る子供たちも始めはおっかなびっくりでしたが、手長エビが発見できると集中力アップで次々と釣り上げていました!エサのゴカイが触れなかったり、ハりにエサが付けられなかったりする子供たちもいましたが、一度釣れると自信を持ち、自らエサを持ち、ハりにエサを付けはじめます!

初めて手長エビやハゼなどを観た子供たちはきっと身近な海にも生き物がいることを知り、大いに興味を持ってくれたことでしょう(^)

沢山の初体験や新発見は子供たちに何を与えたのか?これからの子供たちの活動が楽しみです♪ハマエビ杯の優勝者はなんと初参加の女の子♪見事に全長 20 センチ近い手長エビをゲットしていました!数釣り賞は 4 匹釣り上げた男の子でした♪釣れなかった子供たちもいましたが、横浜のど真ん中にある小さな人工干潟を大いに満喫してくれたようです(^)/

次回は 8 月 4 日 (土)、象の鼻パークお掃除隊 & Hama Beer です。暑い夏にお掃除隊アフターでグビッと参りましょう～(^)/是非皆さんご参加ください♪ 詳細は後日改めてご案内します。



晴れ間も覗く秋の週末！ハマハゼ杯 2018 は大盛況に終わりました♪

---結果発表---

ランカー賞： ████████さん（父）17cm！

数釣り賞： ████████さん（娘）11匹!!□

なんと親子でタイトル総ナメ、おめでとうございます！

今回はマハゼが大漁！始めて魚釣りをした子供もいましたが、マハゼ、チチブ、ボラと釣果が出てみんな大満足でした。♪カニもいましたかね。

優勝の親子は普段からマハゼ釣りによく来ているらしく、マハゼの習性も考えて釣りをしていました！優勝コメントでは仕掛けの工夫も教えていただきましたね！次回はみんなも負けないように頑張りましょう♪

少し残念だったのがエサのゴカイがあまり獲れなかったこと。先月のハゼ釣り練習の時から予感はしていたものの、やっぱり水際線の干潟で獲れたゴカイで釣りたいですね。環境保全についても考えさせられる時間でした。ということで、ハマの海を想い楽しむ子供達が溢れサイコーに楽しいハゼ釣り大会&調査でした！ご参加いただいた皆さまありがとうございました(^)/

次回活動は12月1日（土）。船上カメラマンプロジェクト&忘年会です。

あっという間に年末ですね！忘年会では一年を振り返り、また面白楽しいことでも話し合いたいですね(^)/詳細は改めてこちらにアップいたします(^)/



2018. 12. 01 象の鼻パークお掃除隊+船上カメラマンプロジェクト活動報告♪

今年最後のお掃除隊！レジ袋に缶、ペットボトル、吸い殻と昨年末も同じようなことを報告してましたが、ゴミは町や海からなくなりませんね。

でも、今年は海ゴミが話題になり、スタバのプラスチック廃止宣言から日本の産業界も重い腰をあげリサイクルはもちろん生分解性プラスチックや代替プラスチックの促進など、産業界にも新たな動きが出始めてきました。

とは言え、まだまだゴミは町や海に流れ出ていますから、ゴミを出さないライフスタイルをみんなで心がけていきたいですね(^^)

お掃除隊のアフターは一年ぶりの船上カメラマンプロジェクト撮影会！！今回は水上タクシー・スイタクで象の鼻パークから日本丸前桟橋までのお手軽クルーズで撮影を楽しみましたよ(^^) /

そしてアフターのアフターは忘年会！！今年は国土交通大臣賞を頂いたり、幸ヶ谷小学校に続き、今年開校したみなとみらい本町小学校の子供たちとも活動を一緒に出来ることとなり、ハマを想う仲間の輪が拡がり充実の一年となりました♪

来年も面白楽しくいきますので、どうぞよろしくお祈いします(^^) /

★次回ご案内：2019年1月5日(土) 高島水際線公園愛護会活動を行います。詳細は改めてこちらの facebook に案内します。もちろん新年会もありますので、ぜひお越しください(≧▽≦)



みらいにつなげよう！
かがやけ！

ハマの海

幸ヶ谷小学校の4年生が、総合的な学習の時間に、海について学習してきました。
ガイドブックの名前「ハマの海」の「ハマ」には、横浜にある幸ヶ谷の地域としての「ハマ」、
ハマ海会の「ハマ」というふたつの意味が込められています。
地域の大好きな海が、未来にも輝いていってほしいという願いを込めて、このタイトルにしました。



海から学んだ大切なことを
わたしたちがお教えます！

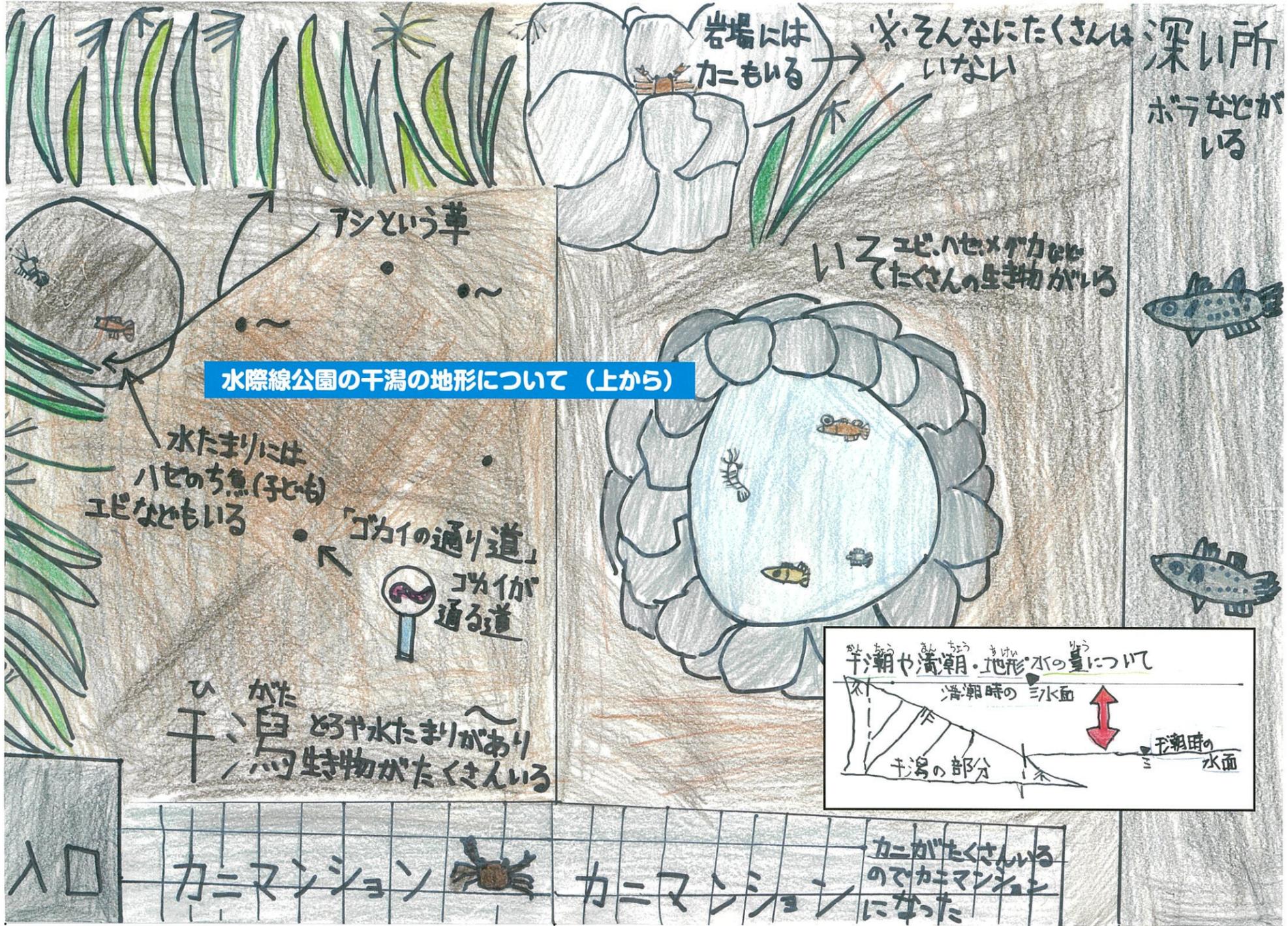
【蛤】Swimming carb (ガザミ)
写真© [redacted]



ウロハセきょうじゅ

エビ博士

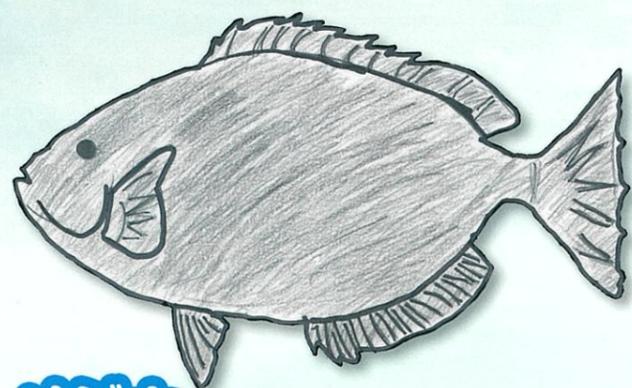
カニ博士



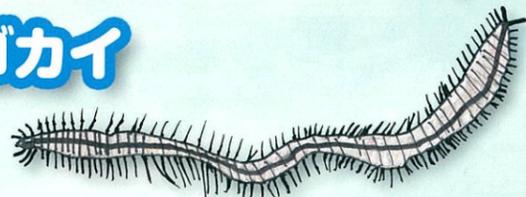
水際線公園の干潟の地形について (横から)



水際線公園の生き物



ゴカイ



干 潟にいます。穴（巣）の中において、人の足音がするとすぐに穴の奥に入ってしまう、出てきません。釣りのえさになります。

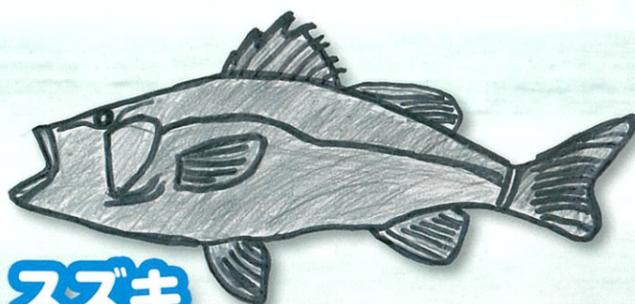
アサリ

干 潟にいます。4cmくらいのおおきさで、食用になります。生きている時は、水管を出しています。模様は、さまざまです。



アシハラガニ

ア シが生えている干潟に住んでいる青っぽいカニです。水際線公園では、カクベンケイガニよりも発見できた数が少なかったです。

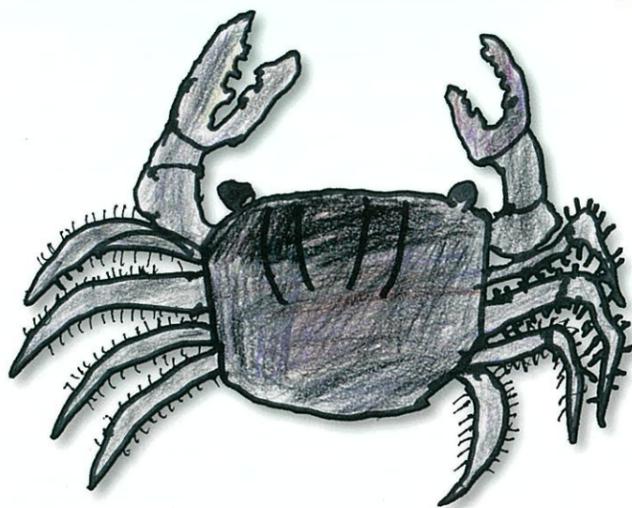


スズキ

大 きくなるにつれてセイゴ→フッコ→シーバス→スズキと呼び名が変わります。「出世魚」とも呼ばれます。帷子川の河口周辺で釣れます。背びれがとがっていて、素手でさわると危険です。

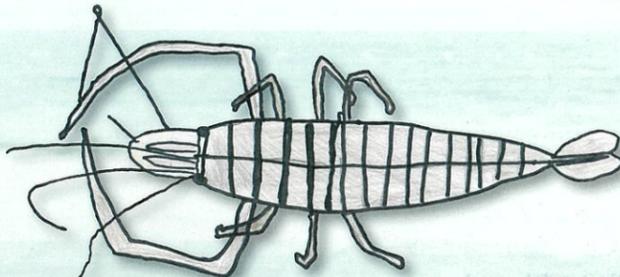
メジナ

雌 子川で釣れます。真っ黒で、背びれがすごいです。釣りでは、引きがものすごく強いです。



カクベンケイガニ

カ ニマンションにいる、甲ぶくが3cmほどの小型のカニです。おくびょうな性格です。



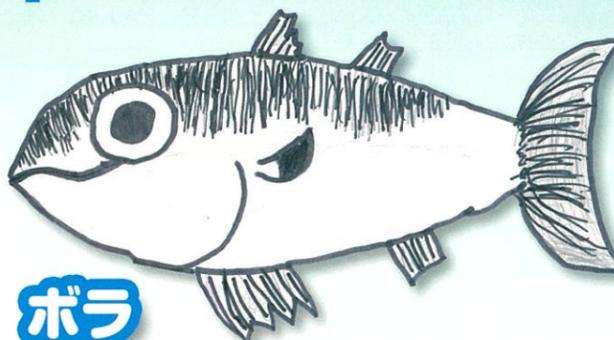
テナガエビ

磯 に住んでいて、人の気配を感じると、岩のかげにかくれてしまいます。手が長いので「テナガエビ」といいます。



マハゼ

冬 より夏のほうがよく見かけます。川や浅い湖などでは網でよくとることができます。好物はゴカイです。さわった感じよくはめぐるめぐるしています。体長は15cm前後になります。



ボラ

川 や海で多く見かけます。一匹いると、そこにたくさん集まってくる習性があります。ざっ食性の生き物なので、なんでも食べます。オボコやトドなど成長すると呼び名が変わります。ここから物事の終わりを表す「とどのつまり」という言葉がうまれたそうです。

チチブ

一 年を通してよく見かけます。すばやくつかまえるのに苦労します。体長は約9cmで土みたいに黒い色をしています。頭は丸くて、体は太いです。ざっ食性で小魚やゴカイを食べます。からあげや天ぷらにして食べるとおいしいです。

釣りの楽しさ

東京湾で釣れる魚 シーバス、アジ、ハゼ、イナダ、クロダイ、ボラ、スズキ、メバル、カサゴ、フグ、チョウチョウウオなど



釣りに必要な道具 釣り竿、リール、保冷バック（釣った魚を入れるもの、糸、サビキ仕掛け、網、水くみバケツ、タオル、サビキ（ブロックで凍っているものがよい）



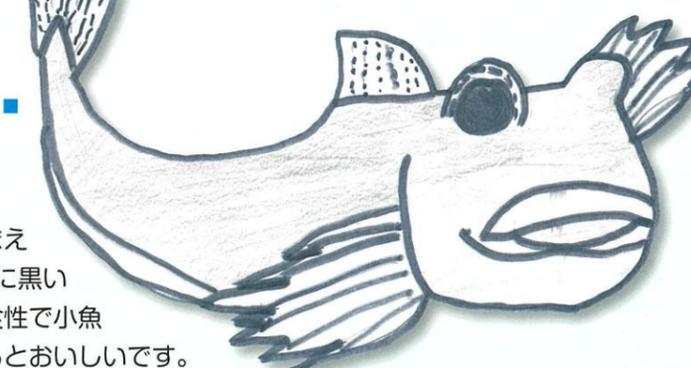
クロベンケイガニ

水 辺の土手などに巣穴をほって生活しています。こちらは四角でボコボコしていて、大きな切れこみがあります。足にはかたくて長い毛があり、ハサミは力がとても強く紫がかかった色をしています。



トビハゼ

ス ズキ目のハゼ科でとびはねて移動します。すんでいる環境は汽水域のひがたなどです。体長はだいたい10cmでピョンピョンハゼ、ネコムツ、カッチャンなどたくさん呼び名があります。



サビキ釣り サビキ釣りのシーズンはゴールデンウィークから秋までの比較的長い時間楽しめます。一番釣れるのは秋ですが釣り場のコンディションによって違います。なれてくると潮見表をみて日にちを決めましょう。満潮2時間前がベストです！まずは楽しくやってみましょう！

釣りの服装のポイント

- 動きやすさを重視
- 日差しから守るために長袖、長ズボンを着用
- 足元がすべりにくい靴（かかとが隠れるマリンシューズがおすすめ）



水際線公園の歴史

2005年 うめ並を削って、東京湾の元気が無くなっちゃった！再生したい！

2006年 水際線公園プロジェクト開始！西岸間話し合ってた。どう公園にする？

2010年 水際線公園工事始まる

2011年 水際線公園完成

2012年 みんな安全さくがあって入れない。ほ、たらかし...

2013年 調査で入る

2015年 愛護会(ハマ海会)が活動開始

2015年 4-1がハマ海会に入り

2016年 水際線公園の生き物について調べる

※再生つくり直して使えるようにする事

今は楽しい活動ができる水際線公園の潮入りの池に入れられない時期があった!!

海でたくさんの人に楽しんでほしいという願いで作られたのにネ

総合の学習で海の生き物について調べることになりました。

その時水際線公園はかきかかかており古川さんからかぎをもらって入れようになりました。ふつうの公園はかきかかかていません。疑問に思い古川さんに聞いてみました。すると「東京湾を再生して元気にしたいので、みんなに海の生物とふれ合、てほしい」という目的で公園は作られたのに、安全上の理由で公園のかきかかかてしまったり行きさつをいまして、使い道がわからず2年間もほ、たらかしくなりました。そのじつたいを改ぜんしようとしたのか、吉野さんと古川さんでみんなが公園に入れるようにハマ海会の活動を始め、たくさんの人達に海にいらしてもらおうと、現在も活動を続けています。少しずつ協力してくれる人たちも、増えてきました。かかよろしくおねがいます!

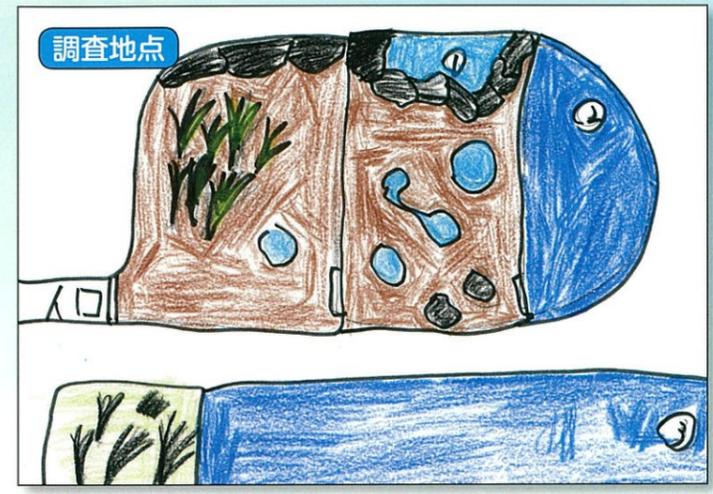


横浜の海のことを考えて守ってくれる人たちに感謝だね みんなも協力してね!

幸ヶ谷の水質について

皆さんは幸ヶ谷の海の水は汚いと思いますか？ここでは、高島水際線公園の水質について調べた結果を発表します。

①水質調査結果



場所	水深	DO酸素濃度	COD	塩分	水温
①	5cm	7	7	1.6%	29
	10cm	6	7	1.75%	28
②	30cm	6.5	7	1.1%	27
	180cm	6	9	1.8%	26
③	30cm	6.5	7	1.3%	26
	250cm	7	6.3	2.4%	26.5

結果はわるくないけどもっときれいにしようね

②水質調査に使った道具

- ①COD検査薬...自然由来の汚れがどれだけあるかを調べます。
※COD (化学的酸素要求量) とは、水中の有機物を分解するのに必要な酸素量。
- ②DO検査薬...水中の酸素濃度ををはかります。
※DO (溶存酸素量) とは、水中に溶け込んでいる酸素の量。生き物が住むには3mg/l以上必要で、5mg/lだと元気に過ごすことができます。
- ③海水比重計...海水を入れ、塩分の濃さをはかります。

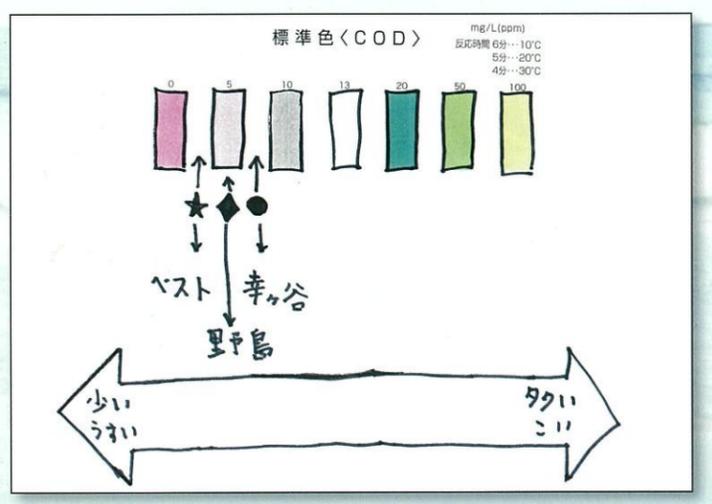


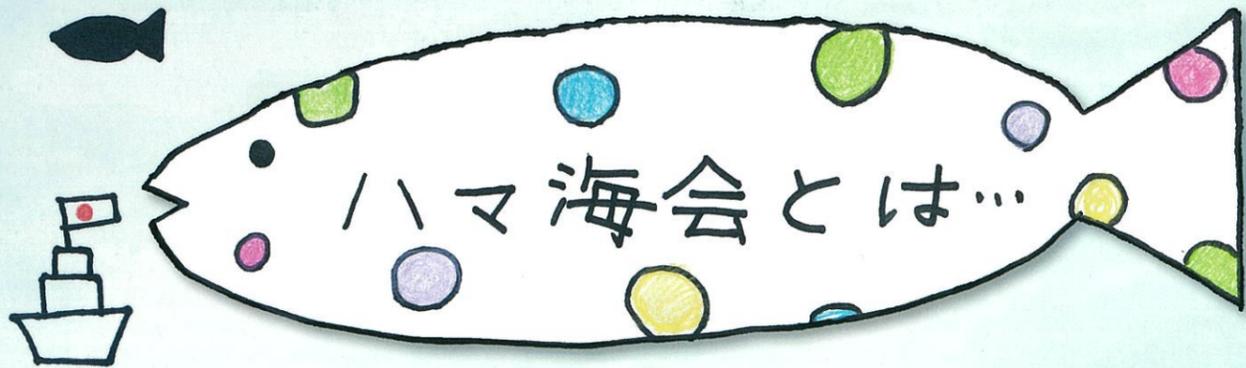
③調査結果からわかったこと

幸ヶ谷のCODは5~10の間です。私たちが目標とする野島は2~5です。図を見て野島の水はベストに近く、生き物が住みやすいことがわかります。

しかし、CODが0だと魚のえさになるプランクトンが集まってこなくなり、栄養分がなくなってしまうので2~5がちょうど良いのです。CODはたくさんあるほうが酸素の量が多く、呼吸がしやすくなります。

つまり幸ヶ谷の海は、まあまあきれいで生き物が住める環境だということがわかります。





ハマ海会とは...

ハマの海が好きな人 } が集まって
 ハマの海を再生したい人 } 出来た会。

ハマ海会は、「もっと遊ぼうハマの海!」をスローガンに、「みんなが楽しく憩える美しいハマの海」の創出を目指しています。
 *再生→作り直して使えるようにすること。

なのでハマの海好きならどなたでも
 K♪

よしの 吉野 生也 さん
 そんな会を作ったのが...

吉野生也さんは、ハマ海会のイベントを中心となって考えたり、定期的に海のごみ拾いをしたり、つりのイベントを行ったりしています。

よしの 吉野生也さん

ハマの海を想う会 代表/東京湾大感謝祭実行委員会 事務局長
 海を愛し、海のためにみんなのできることを考え「ハマの海を想う会」設立



ぼくは、釣りが大好きなので、横浜の海でもっと遊びたいと思いました。ですが、マナーが悪い人が多かったり、人が増えすぎてしまったりして、釣り禁止のところが多いのです。もっと海で遊べる場所を作ってみんなで海で遊びたい、生き物とふれ合いたいと思いました。そして作ったのがハマ海会です!



▲ハマ海会の様子

参加した人に、聞きました!!

ハマ海会に行くと、どう思いましたか?

楽しかった。おもしろかった。生き物がふえてよかった。生き物がとれてよかった。ハゼが前より多くなった。などがありました。

ハマ海会できたいしていることは、ありますか?

生き物がもっとほしい!! ゴカイがいっぱいほしい!! などがありました。

「ハマハゼ杯」とは? ハマハゼ杯は、ハゼをつり、つった数で競います。ゆう勝とランカー賞があります。*ランカー賞は、ハゼの体長が最も長いハゼをつった人がもらえる賞です。

海とふれあうって楽しいね



もっと遊ぼうハマの海!

●私はどろにいる「ゴカイ」をとるのがむずかしかったです。初めて見たときは少しびっくりしたけれど、見なれたら面白い動きをしています。ゴカイは少しでも引くとすぐに切れてしまうので、どろの中をシャベルでさがすのはとても大変でした。でも、たくさん見つけることができて楽しかったです。面白い形の用具で捕まえている人もいたので、今度参加するときはぜひ使ってみたいです。



●ぼくは、ハマ海会のハゼつり大会で一番大きな体長13cmのハゼをつり上げて優勝することができました。景品のカニ絵はがきがもらえてとてもうれしかったです。さらにじゃんけん大会でもマハゼのじょうぎがもらえて、今でも大切に使っています。楽しいハマ海会の活動を通して、幸ヶ谷の海がもっと好きになりました。

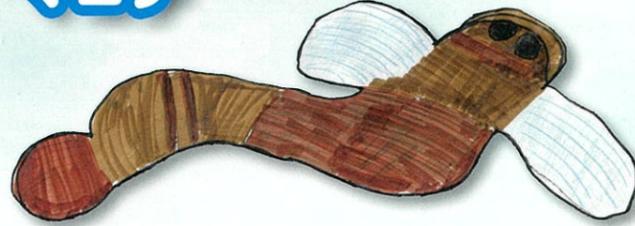
●つりは楽しいですが、つった生き物が落ちてしまったり、エサがいつの間にか食べられてしまったりとむずかしいこともたくさんあります。でもハマ海会の人たちがルアーの動かし方や、からまってしまった糸のほどき方を優しく分かりやすく教えてくれたおかげで、初めてチチブをつることができてとてもうれしかったです。

●つりの仕方が分からなかった私に、古川さんがエサの付け方やつりざおの使い方を優しく教えてくれました。最初は全然つれなかったけど、途中からコツをつかんで、なんと10匹もつることができました。

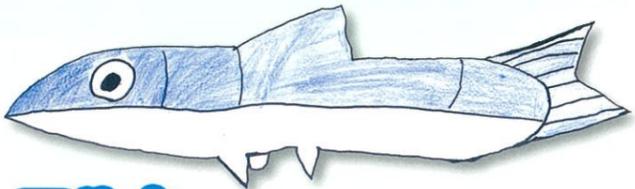
この感動は体験してみないとわかりません! ぜひ、あなたもハマ海会の活動に参加してみてくださいね。

技調の生き物図鑑

マゴチ



よ くハゼと間違われますがハゼの仲間ではなく、カサゴの仲間です。マゴチは大人になると大きいのは40cmくらいあります。ゴカイなどを食べます。マゴチの特徴は全体的に茶色でもっと濃いものもいます。ひれ・しっぽはグレーよりちょっと白いです。

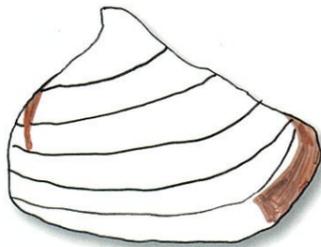


マルタ

マ ルタはコイの仲間で、海でも川でもどっちにも住むことができます。体長50cmの大型魚でなんでも食べます。

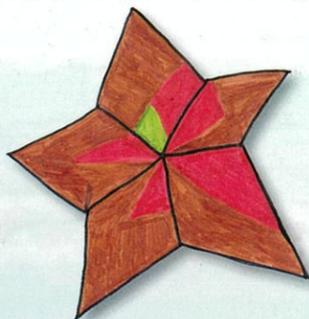
カガミガイ

形 はホンノビスガイに似ていて技調ではたまに見られます。砂やどろの海底にすみ、満ち引きするときに干潟でとれます。色が白くてかわいいです。



イトマキヒトデ

技 調に最もたくさんいるヒトデです。少しずつ赤色がまじっていてもかっこいいです。茶色くてちょっと地味かもしれないが見つけたときは「すごいな」と思いました。腕は基本5本ですが、4本や6本のものもあります。



コサギ

全 身の毛が真っ白です。潮彩の渚ではかなり大きい鳥で色々な魚をとって食べます。ほかにもカニなども食べます。時々町のほうでエサをとることがありますが普段は海岸やイソでエサをとります。



オカヤドカリ

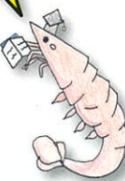
砂 浜に住んでいるヤドカリで水に入ると死んでしまう。平均3年、長くて5～6年います。木があると脱走しようとするので、飼育するときには蓋をしっかりしめるなど気を付けましょう。



ガザミ

体 長10cmくらいの大型ワタリガニです。砂浜や浅瀬に生息し、ハゼなどの魚を好んで食べます。食用にもなり、調理するとおいしいです。生ではあまり食べません。

カニなのに泳ぐのが得意なんだよ

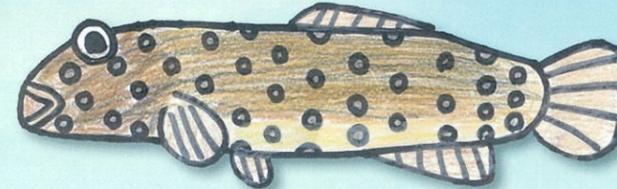


イソシジミ

シ ジミの何倍も大きく、3～5cmくらいのサイズです。シジミという名前ですが分類上はハマグリのほうが近いです。ふたみたいなところが帽子みたいでかわいいです。水中の有機物を分解して海をきれいにしてくれます。身の味があり、良いだしが出ます。

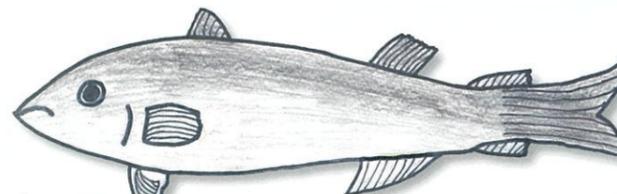


海水そうの生き物



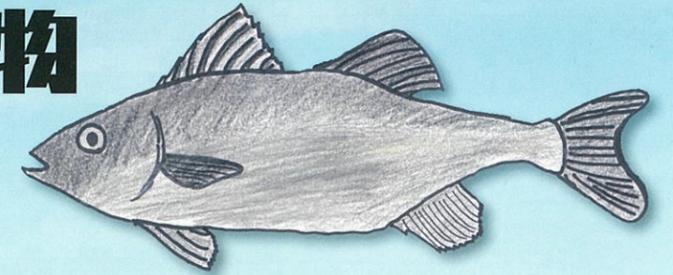
ウロハゼ

体 長は20～25cm程度です。マハゼとよく似ていますが、体はマハゼより太くて短く、ウロハゼの下あごは前に突き出しています。主に夜間に活動し、昼間は石の下や岩穴にいます。白身の魚だからあげや天ぷらにととてもおいしいです。海水そうの中ではよく下の方にいて貝の間にかくれています。



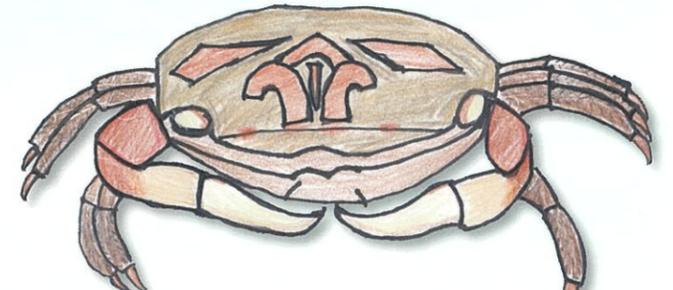
ボラ

海 水そうでは、水面の近くにいることが多いです。



シーバス

大 きいもので長さ1m、重さ10kgに成長します。生きているエサだったらなんでも食べます。またシーバスは一年中昼でも夜でもつることが出来ます。日本のざい来種で昔から高級食用魚として扱われてきました。海水そうの中では、いつもじっとしています。でも人が近づくと、すぐににげてしまいます。



クロベンケイガニ

海 水そうの中では、石の上にはなしたらすぐに水の中にもぐっていきました。そして貝の中にかくれました。

海水そうをわたしたちがつくっている理由

わ たしたちは、去年の4年生が総合的な学習で海の活動に取り組んでいたことを知っていたので、興味をもちました。そこで技調や野島、ポートサイド公園、水際線公園などまわりにある色々な海と関係のあるところに行きました。そして、幸ヶ谷の海的环境やそこにすむ様々な生き物を知ることができました。それらのよさをたくさんの人に伝えたいと思って、学校の海水そうに幸ヶ谷の海のよさをあらわしていく取り組みをはじめました。生き物調査からはじまった活動は海水そうをつくっていただいた



たくさんの人たちに伝えることができました。



みんなで色々なところに調査に行きました。

青木さん(次ページ)の力も借りて、さらにパワーアップすることができました。12月に行われた「ステップアップフェスティバル」でもたくさんの人たちに海水そうを通して、海のよさを伝えることができました。これからもたくさんの人たちに幸ヶ谷の海をもっと知ってもらえるように、活動に取り組んでいきます。



グリーン棟1階です。ぜひ見に来てください。

これから見る人も海の生き物も笑顔になる海水そうをつくっていききたい!!

これから飼育したい生き物



ヤドカリ

マ キ貝のあいている貝に入って生活しています。体はカニに似ていますが、頭とむねはカニよりやわらかいです。名前のゆらいは貝をかりながら生活しているのでヤドカリといえます。海水そうに生えるコケを食べてくれます。

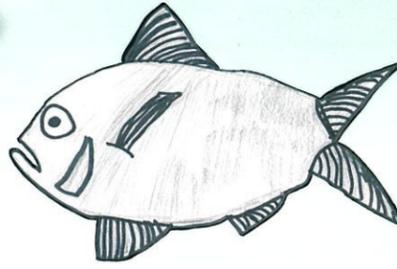


ミドリカラス貝

ミ ドリカラス貝は池、湖、沼などに生息しています。貝がら自体はあつくふくらんでいます。色はかっ色が暗いかっ色をしています。大きさは10cmです。石ころの上でよく見かけます。

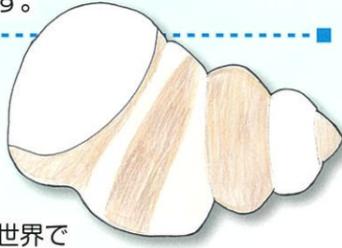
クロダイ

大 きさは約50cmです。北海道南部から九州南部の幅広い地域の沿岸や内湾や藻場、砂底、河口などにいます。つり人にも人気があり関東では成長に伴って呼び名が代わる出世魚でもあります。



マキ貝

岩 浜、内海、干がた、砂浜などの海辺や海岸で見られます。世界で一番大きいのは、「アヒフラオオニシ」でなんと体長77cmもあります。肉食と草食がいます。マキ貝は水をきれいにしてくれる役わりがあります。

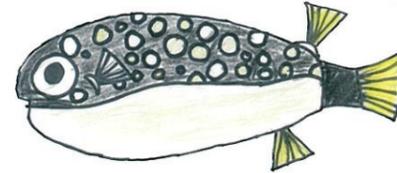


クサフグ

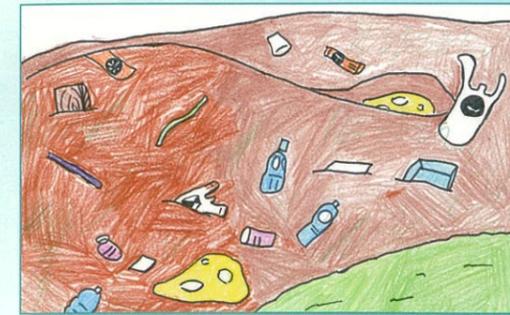
全 長20cmの小さなふぐです。5～8月の新月や満月の日に岸辺で産らんします。砂にもぐる習性があるので、砂ふぐともいわれています。技調で一度つかまえたことがあるので、また出会いたいです。



グリーン棟に見に来てね!



①自分たちにできるエコ活



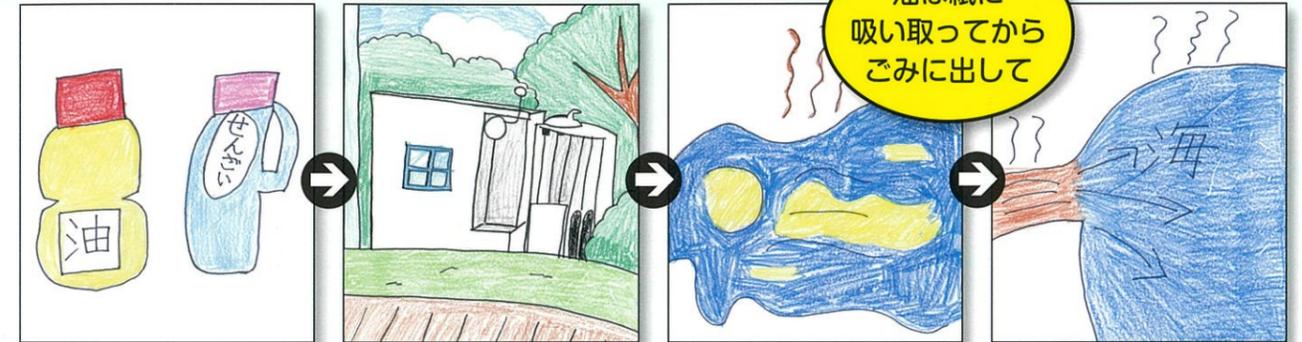
ポイ捨てすると魚の呼吸に害を与え、自分たちの海が汚くなってしまいます。

必要な分だけを使ったり買ったりする! 自分でも考えてみてね!

ほくたちが今できる事

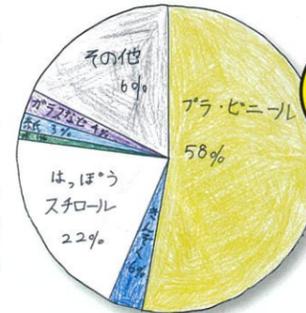
- 海のごみを捨てない
- 排水口に汚れを流さない。
- 歯磨き粉・シャンプーなどを使いすぎない。(ビニールと出さない)

②ごみが増えると～汚い海になるまで～



- ①油やせんざいなど汚れた水を流す。
- ②排水処理施設である程度はきれいにされる。
- ③でも油の汚れは残ってしまう。
- ④だから海は汚くなる。

③ごみの種類



とくにビニール袋が多くて大変!!

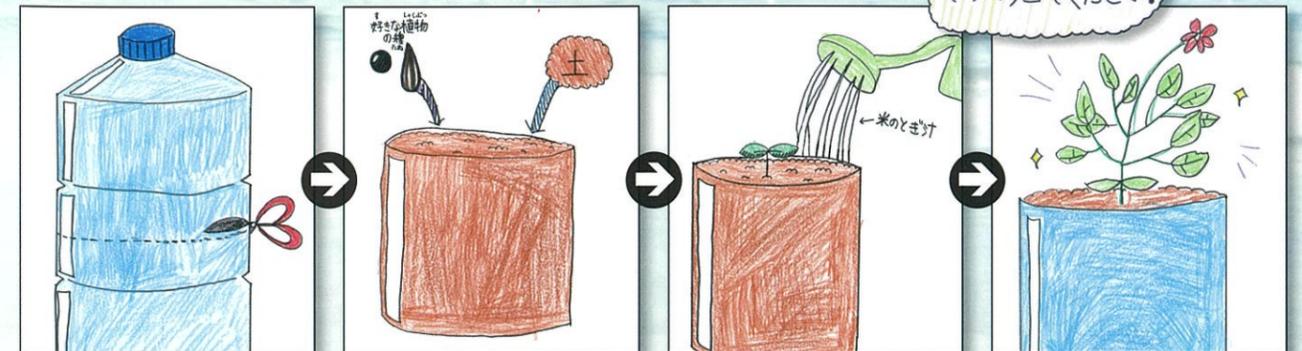
④三たぐクイズ

問題 このまま海や川にポイ捨てをしたり油を流したりすると未来の海や川はどうなってしまうでしょうか?

- ①魚がげつめつきぐしゅになる。
- ②海がきたなくなつて遊べなくなる。
- ③食べるものが少なくなる

答え ②③

⑤実際にエコ活をペットボトルでやってみよう



- ①ハサミでペットボトルを半分に切る。
- ②土を入れて、その上に自分の好きな種を植える。
- ③お米のとぎ汁をジョウロにに入れて毎日あげる。
- ④花が咲いて完成!

みなさんぜひやって見て下さい!

幸ヶ谷の海水そうを作ってくれた青木さんにQ&A



あおきひろき 青木宏樹さん

青木さんは幸ヶ谷小学校の海水そうをつくってくれた生き物博士です。みんなが困ったことや質問があった時はいつもやさしく、分かりやすく教えてくれます。

Q じゃあどうして、そんなにしょっぱい海でも魚たちは生きていられるの?

青木さん 海の生き物は川の生き物とちがって、こいおしっこを少しだけします。これによって体の中の塩分をぬいているので、海の中でも生きていけるんだよ。

Q 天気や時間、気温などで生き物の活動の様子が変わったりしますか?

青木さん 雨がふっていると海に酸素がよくいきわたり、魚にとっては呼吸がしやすくなります。他にも夜に活発になったり、月明かりによせられる生き物もいます。寒い方が元気になる魚だっているんですよ。このように環境が変わると、活動の様子も変わるんだね。

Q 海にゴミなどをすてると、なんで魚たちにとっていけないの?

青木さん 生き物が生きていくのに必要な酸素は、空気中と水中を行き来しています。ゴミを海にすててしまうとそこからでる油で酸素が通りにくくなってしまいます。なので海の生き物にとっては、ゴミのないきれいな海が一番なんだよ。

Q 季節によって海にすんでいる生き物は、なんで変わるんですか?

青木さん 季節によって温度が変わり、エサやかくれがなる海そうの種類が生え変わることも理由の一つなんだよ。また、季節によってつることのできる生き物が変わるのは、エサを食べずにじっとしている季節が生き物によって違うからなのさ。

Q 海の水って、どのくらいしょっぱいの?

青木さん お父さんがお酒のおつまみで食べる「イカのしおから」よりも、もっともつしょっぱいって言えばわかりやすいかな。口に入れるのは、やめた方がいいよ。

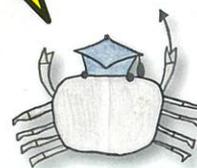
みなさんへのお願い

このすてきな幸ヶ谷の海と これから一緒に

みなさん「みらいへつなげよう！かがやけ！ハマの海!!」はいかかでしたか？

この冊子を通して幸ヶ谷の海に興味をもってもらい、ふれあうきっかけになってくれたらうれしいです。

海をよごすと、環境が悪くなり、今いるたくさんの海の生き物がすみづらくなります。だから、ゴミを捨てないように気をつけたり、ハマ海会の活動に参加して、一緒に海の清掃活動をしたりして、これからも大好きな幸ヶ谷の海を守っていただけるように、みなさんもお協力をお願いします！



みらいへつなげよう！かがやけ！ハマの海!!

2017（平成29）年3月作成／発行：小正和彦

制作：幸ヶ谷小学校第4学年児童

担当教諭：高橋里枝（1組）／久保聡一郎（2組）／石飛みずき（3組）

横浜市立幸ヶ谷小学校

〒221-0051 横浜市神奈川区幸ヶ谷1丁目1番地

電話：045-441-3170・5277・6983（通級）／FAX：045-441-9896

mail：y3kogaya@edu.city.yokohama.jp

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

東京大学海洋アライアンス
海洋教育促進
研究センター

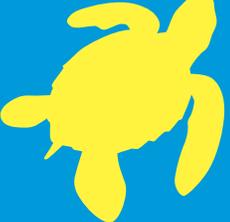
財団 笹川平和財団

©財団 海洋政策研究所

この冊子は、海洋教育バイオ
ニアスクールプログラムの助
成金により作成しました。

もっと遊ぼうハマの海！

HAMA
UMI
KAI



 ハマの海を想う会


- ・団体名：ハマの海を想う会
- ・設立：2010年3月6日
- ・認定：横浜市港湾局みなとみどりサポーター
- ・URL：<https://sites.google.com/site/hamaumi/>
- ・e-mail：hamaumikai@yahoo.co.jp
- ・**facebook**：ハマの海を想う会

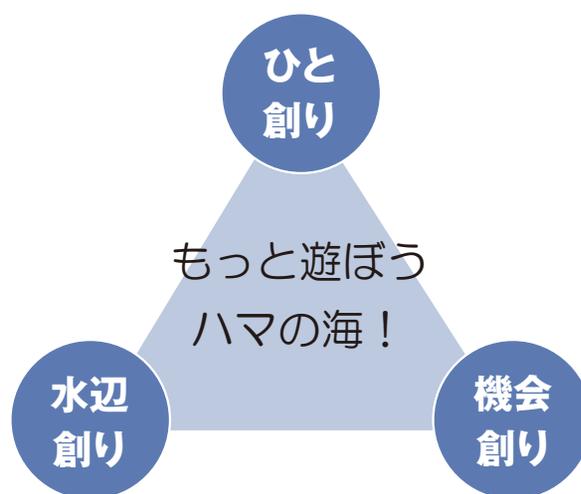
もっと遊ぼうハマの海！

粋な水辺の遊び人が集い

“みんなが楽しく憩える美しいハマの海”

の創出を目指します。

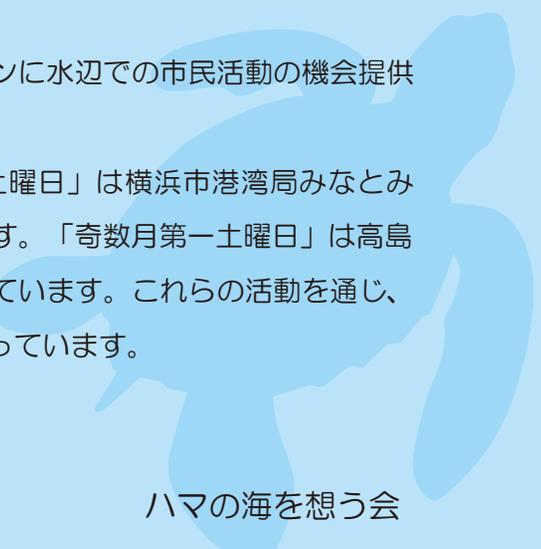
ハマの海好きならどなたでも参加OK♪
イベント情報は より
ご覧いただけます。



ハマの海を想う会は、「もっと遊ぼうハマの海！」をスローガンに水辺での市民活動の機会提供と人材育成、環境美化に資する活動を展開しています。

横浜のインナーハーバー地区を主な拠点とし、「偶数月第一土曜日」は横浜市港湾局みなとみどりサポーターとして象の鼻パークの清掃活動を実施しています。「奇数月第一土曜日」は高島水際線公園での愛護会活動、生き物調査や観察会などを実施しています。これらの活動を通じ、水域や水辺空間の活用および海遊びへの興味・関心の促進を図っています。

ハマの海を想う会



■ハマの海を想う会 2018年活動予定表

月	日	象の鼻パーク お掃除隊	高島水際線公園 お掃除隊	交流会・イベント
4月	7日	●	-	お花見隊
5月	5日	-	●	水際線大掃除
6月	2日	●	-	-
7月	7日	-	●	ハマ海老杯&SUPトライアル
8月	4日	●	-	Hama Beer ♪
9月	1日	-	●	防災安全ワークショップ
10月	6日	-	●	ハマハゼ杯予行
	20・21日	-	-	東京湾大感謝祭
11月	3日	-	●	ハマハゼ杯
	23-25日	-	-	ハマ海杯
12月	1日	●	-	船上カメラマンプロジェクト・忘年会
1月	5日	-	●	新年会
2月	2日	●	-	-
	16日	-	-	G.O.M
3月	2日	-	●	葦刈隊

※偶数月第一土曜日：横浜市港湾局みなとみどりサポーターとして実施する象の鼻パークでの環境美化活動

※奇数月第一土曜日：横浜市高島水際線公園愛護会として実施する高島水際線公園での環境美化活動

※月度により活動場所が変わる場合があります。



- ・ハマの海を想う会
- ・URL：<https://sites.google.com/site/hamaumi/>
- ・facebook：[ハマの海を想う会](#)
- ・e-mail：hamaumikai@yahoo.co.jp

検索：ハマ海会



ハマの海好きならどなたでも参加 OK♪